
ちまあよくあってよくなってよくよくかんがえればよくもどこにも見当たらない、そんなよくあ

忍野八雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よくもまあよくあってよくなくてよくよくかんがえればよくもどこにも見当たらない、そんなよくある話

【Nコード】

N3147Z

【作者名】

忍野八雲

【あらすじ】

title通りです。

突発的に、保健室登校の普通の良くいる女の子とよく保健室にくる男の子とのイチャラブが書きたかったんですよ。

まあ、ある意味良くありますよね。こんなこと。

私もよくありましたヨこんな事。

ああ、何に対してよくあることでよくない事なのか、よくのない私にはわかりませんね。H A H A H A。

(前書き)

titile通り、よくある話。

まあ、苦情であれ何であれ受付ます。

あつはあつは

「今日もここなわけ？」

「……うん。榊原は？」

「いつも通りの腹痛だよ。体育出たかったのになあ」

「……そっか」

「ベッドは？」

「誰もいないね？うん。センセもいないから榊原だけ」

「榊原っていつも思うけど、自分の事を自分の名前で呼ぶのやめろよな。ややこしい」

「榊原、これが一番榊原らしいから」

「あーあー、そう。まあいいや。寝るね」

「あ、榊原。もっと、構って……？」

「う、腹痛で来てんだって。出来る限り寝てたいんだって」

「じゃあ、榊原。榊原のお腹さすってあげるよ」

「な、やめろよ。ハズいだろ！」

「ほら、榊原はよい子ー良い子 でしょ?」

「子供扱いすんな」

「さ、榊原がさすつてあげるんだから、感謝しなさいよね」

「キャラを変えるな!!………つう」

「あ、ごめん榊原!!榊原のせいで………」

「いいよ、別に。んじゃ、寝るから」

「うん、お休み榊原」

「ああ、お休み榊原………って結局さするのかよ!?!しかも添い寝も」

「気持ちいい?榊原の手は冷たいけど、どうかな………」

「あ、えつとその、榊原の手って………」

「なあに?」

「なんか、そのぞくぞくしてくるって言うか………」

「榊原の変態!」

「な、うつせえ!大体榊原は女子だろ!!こついうことする奴を痴女っていうんだぞ!!兄ちゃんが言った」

「違うよ、榊原のお姉ちゃんは言った。『いくら女の子が変態的な行為をしたとしても、それは全部男の責任に出来る』って」

「榊原のお姉ちゃん、怖すぎるだろ。何者だよ」

「榊原のお姉ちゃんだよ」

「まあ、そりゃそつだけよ」

「……………」

「……………」

「……………」

「……………」

「……………」

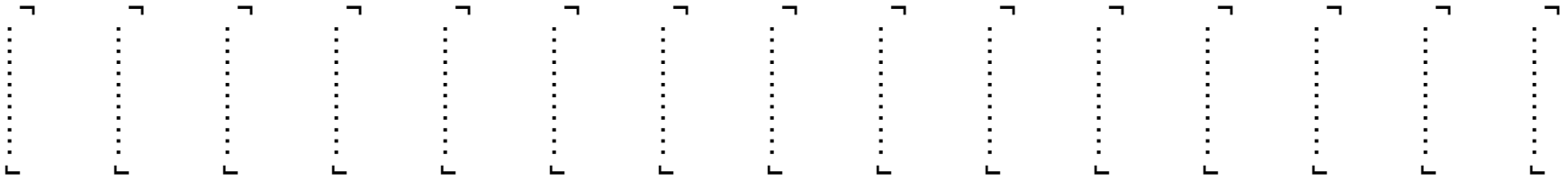
「……………」

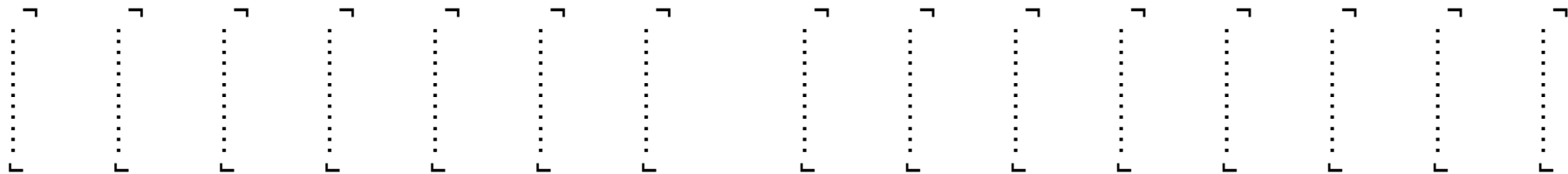
「……………」

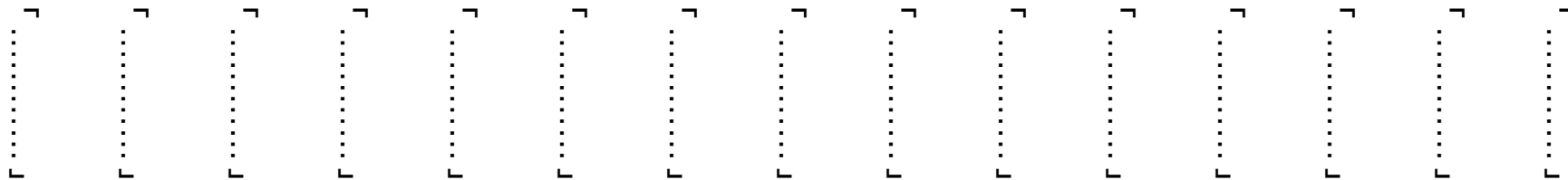
「……………」

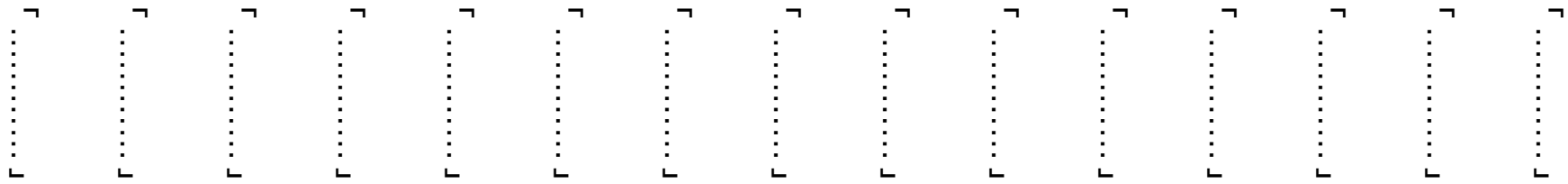
「……………」

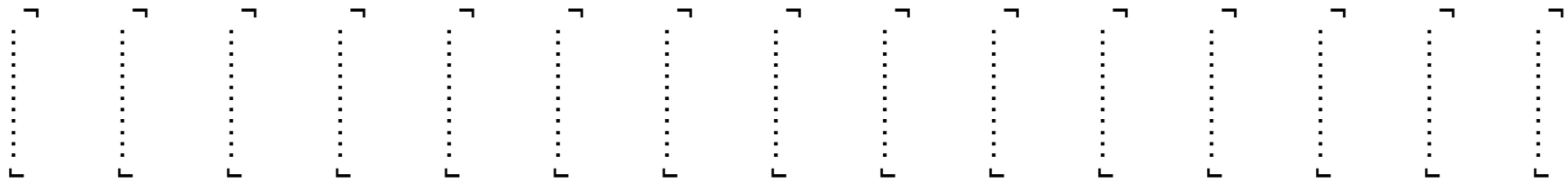
「……………」











「だって、皆榊原の事……怖がるから」

「榊原はどうして、授業にでないわけ？」

「なに、榊原」

「なあ、榊原」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「怖がるって。怖いところなんてどこにもないじゃないか」

「榊原が榊原って言う度に皆変な目を向けてくるんだ」

「それはこわがってないし、絶対榊原が悪いよ！」

「そ、そんなことない！！榊原は悪くないよ！？」

「……悪いに決まってるだろ。せめて普段は普通にすれば……」

「なんだよ」

「かつこいいじゃん、榊原って」

「そ、そんなことないよ！！大体榊原、男じゃん。むしろ榊原の方があってるって」

「女だからってカツコいいもんはカツコいいんだよ。だから、直そ
うっ？」

「う、うん。でも」

「でも？」

「授業に出れないのは、ホントは体が弱いから」

「榊原と一緒にだ」

「そう。ホントは、学校来ないで入院してないといけないんだ」

「榊原と一緒にだよ」

「え？榊原も入院！？」

「ていうか、手術。今度受けるんだよ……」

「だい、じょうぶなの？」

「ん、大丈夫。だから、榊原も榊原の代わりにちゃんと授業に出るように体を治してほしい」

「……わかった。榊原の言うとおり榊原も頑張る」

「ん、それでこそ榊原が好きな榊原だね」

「え、それって何？告白？」

「ち、違う！！そ、そういうのじゃない！！」

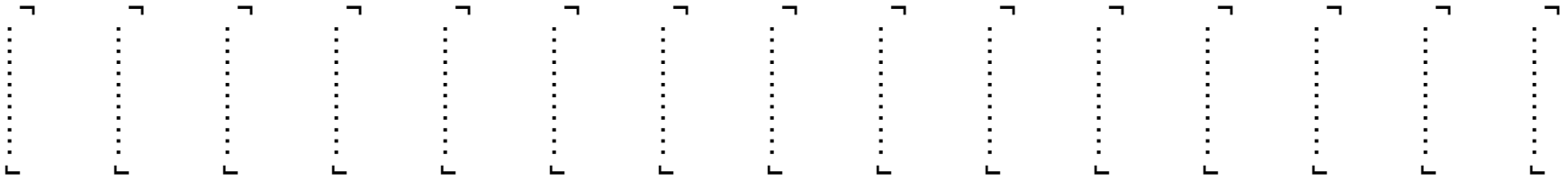
「へっへーん。これで榊原の弱み握ったもんねー」

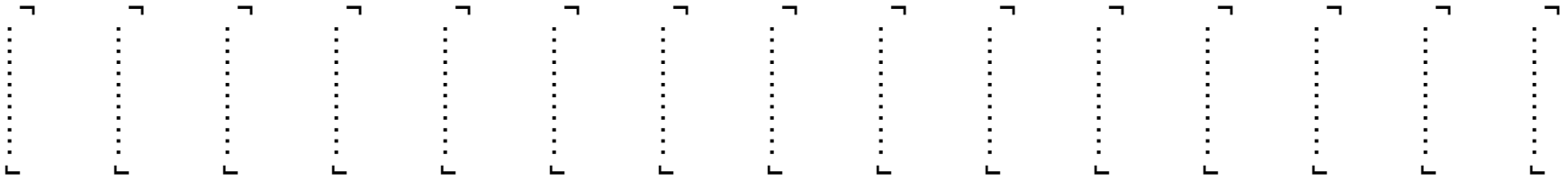
「うう……、榊原も早く寝ろー！！」

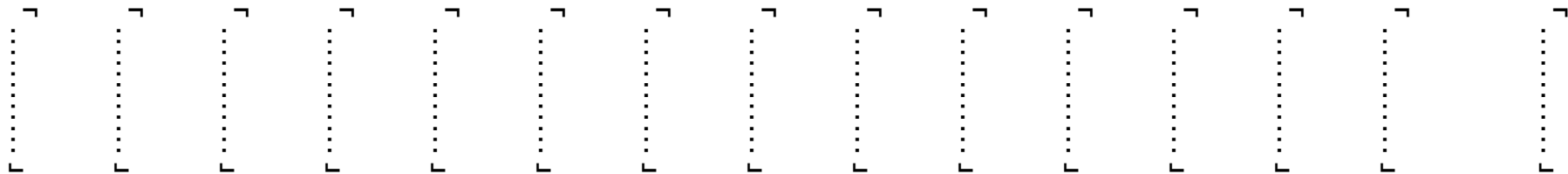
「わかったよ、榊原。お休み」

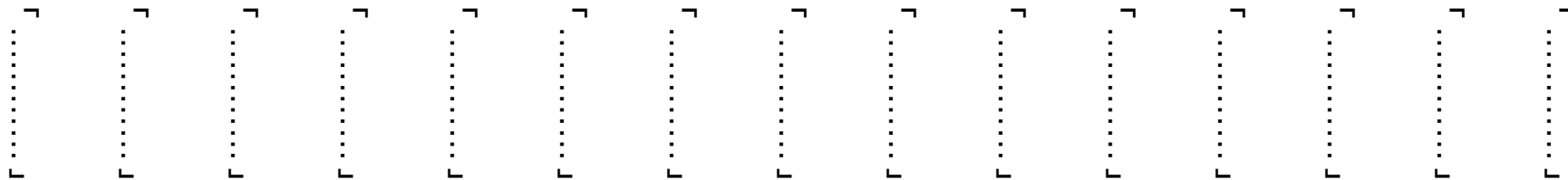
「おやすみ」

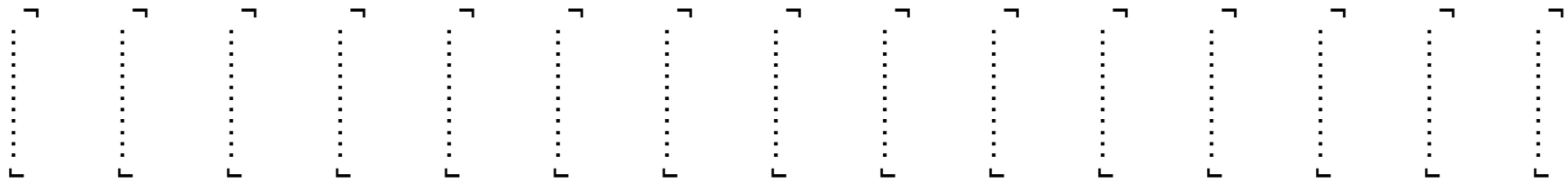
「……………」

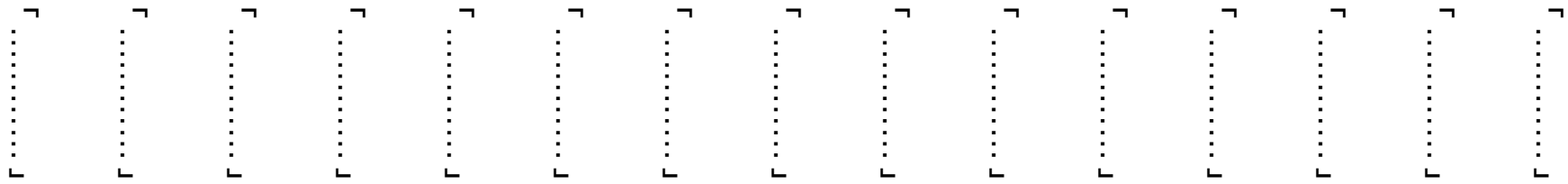












「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「神原その自分の事を自分で呼ぶのも直してね？」

「……ん」

(後書き)

いかがでしたでしょうか。

頭痛い？

まあ、そのためだから謝らないけどね。

とりあえず、今日はスっ気な日なんでもかといって避難体制。

因みに、カツコ数は関係ありません。

だから誰が誰なのか関係ありませんし。強いて言うなら、この作品の登場人物は二人とは限りません。

強いて言うなら、一番頑張った作品かもね。アハ。

感想待つてマース

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3147z/>

よくもまあよくあってよくなくてよくよくかんがえればよくもどこにも見当た

2011年12月10日23時50分発行